

# マスターキュアー<sup>®</sup> 106

## MASTERKURE<sup>®</sup> 106

### コンクリート用養生剤(水性タイプ)

マスターキュアー 106は、施工直後あるいは脱枠直後のコンクリートやモルタル表面に塗布する水性タイプの養生剤です。セメント系材料の初期材齢における保湿・保水効果を高め、セメントの水和反応を最適環境下で進行させることができますので、良好な養生効果が得られます。また、高強度コンクリートや高流動コンクリートの打設時に散布しますと、コテの滑りを向上させるとともに、水分の蒸発を抑制する効果により仕上げ作業時間の延長を可能にします。

#### 特長

1. セメント系材料の初期材齢における水分の蒸発を抑制し、急激な乾燥によるプラスチックひび割れの発生を低減させます。
2. セメント系材料の水和反応を最適環境下で進行させます。
3. セメント系材料の養生が塗布・散布等の作業で容易に行えます。
4. 荒均しや仕上げ時におけるコンクリートの粘りを低減し、なめらかな仕上げ作業性が得られます。
5. 水性タイプの養生剤なので扱い易くかつ安全です。

#### 物性

成分	外観	密度(g/cm <sup>3</sup> )	発火点	凍結点	有害性の分類
水性パラフィンワックス	淡乳黄色液体	0.95~1.00	該当せず	<0℃	該当せず <sup>*</sup>

\* 平成13年厚生労働省/経済産業省告示第二号

#### 用途

- コンクリート・モルタル等、セメント系材料の初期養生
- 高強度コンクリート、暑中コンクリートの表面仕上げ補助剤
- ノンブリーディングモルタルの表面仕上げ補助剤

#### 標準使用量

- 養生剤としての使用量 70~100ml/m<sup>2</sup>
- 仕上げ補助剤・養生剤としての使用量  
1回分散布量: 100~150ml/m<sup>2</sup>  
2回分散布量: 300ml/m<sup>2</sup>以下

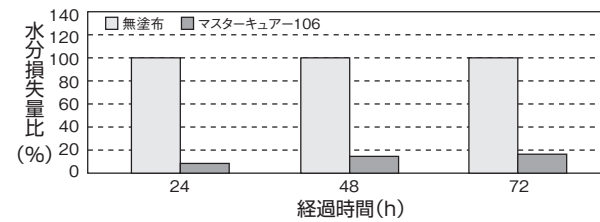
## 性能試験結果例

### 曲げ・圧縮強度試験結果

種類	曲げ強度(N/mm <sup>2</sup> )		圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	
	7日	28日	7日	28日
無塗布	4.66 (100)	6.08 (100)	23.5 (100)	27.9 (100)
マスターキュア-106	4.72 (101)	6.12 (101)	26.0 (111)	32.8 (118)

注.( )内は無塗布を100とした強度比を示す。

### 経過時間と水分損失量比の関係

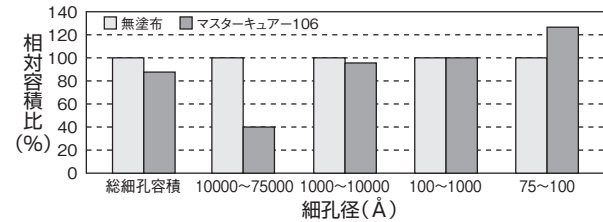


### 摩耗質量試験結果

種類	摩耗質量(g)	
	500回転	1000回転
無塗布	11.4 (100)	26.5 (100)
マスターキュア-106	4.1 (36)	7.6 (29)

注.( )内は無塗布を100とした摩耗質量比を示す。

### 細孔径と相対容積比の関係



試験機関: 社団法人 建築研究振興協会

## 使用方法

### 仕上げ補助剤・養生剤としての使用方法

#### 1) 一般的な場合



マスターキュア-散布 (標準散布量=100~150ml/m<sup>2</sup>)  
マスターキュア-をスプレーやジョウロ等で散布しながら、仕上げ作業を行って下さい。

#### 2) 均し作業がしにくいコンクリートの場合 (例: 高強度コンクリート)



3) マスターキュア-散布 (標準散布量=100~150ml/m<sup>2</sup>)

仕上げ作業が困難な場合、最少量のマスターキュア-を使用し、確実にコンクリートへ擦り込みを行ってください。

#### 3) 床仕上げ材 (Pタイルや樹脂系塗り床材等) を適用する場合



3) マスターキュア-散布 (標準散布量=100~150ml/m<sup>2</sup>)

### 養生剤としての使用方法

コンクリート硬化面あるいは脱枠直後の脱枠面に、スプレーやモヘアローラーで均一に塗布してください。

## 施工上の注意事項

1. マスターキュアー 106は、仕上げの時期を逸したコンクリートのタイミングをもどすためには使用しないでください。それを行うと表層ノロが剥がれる場合があります。
2. 本品を使用して仕上げたコンクリート面をシート養生する場合は、コンクリートが十分に締ってから行ってください。
3. ブリーディング水の多いコンクリートでは、ブリーディングがおさまってからマスターキュアーを散布してください。
4. 床仕上げ材を適用する場合、荒均し時に散布して擦り込みをよく行ってください。なお、床仕上げ材がハジキを生じる場合は、ポリッシャー程度のサンディングを行ってください。
5. マスターキュアー 106の擦り込みは、セメント色となるまで十分に行ってください。

## 使用及び取扱上の注意事項

1. 本品はセメント系材料の養生以外の目的には使用しないでください。
2. 使用時には、本品をよく攪拌してください。また、水を加えないでください。
3. 屋外では、降雨時および0℃以下になることが予想される場合の施工は避けてください。
4. 塗布作業後、施工面が凍結しないように注意してください。
5. 本品の保管は直射日光を避け、0℃以上の室内に保管し、使用後は容器の蓋を正しく閉じて保管してください。また長期間（1年間以上）保存されたものは使用しないでください。
6. 取り扱いに当たっては防塵マスク、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用してください。
7. 目、皮膚に対して刺激性があり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
8. 目に入った場合には、速やかに清浄な水で十分に洗眼した後、専門医の診察を受けてください。
9. 皮膚に付着した場合には、速やかに水と石鹼等で洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
10. 飲み込んだ場合には、多量の水を飲み込ませ吐かせた後、専門医の診察を受けてください。
11. 詳細はMSDSを御覧ください。

## 包装形態

18ℓ/缶

※本商品についてのお問い合わせは、本社建材営業部または最寄りの支店・営業所までご連絡ください。

## BASF ポズリス株式会社

本 社 東京都港区六本木6丁目10番1号 混和剤営業部 TEL 03-3796-9870 FAX 03-3796-9980  
六本木ヒルズ森タワー 21階 建材営業部 TEL 03-3796-9850 FAX 03-3796-9980

仙台支店 TEL 022-224-1631 FAX 022-224-1634 大阪支店 TEL 06-4964-7240 FAX 06-4964-7244  
東京支店 TEL 03-3796-9900 FAX 03-3796-9960 福岡支店 TEL 092-481-1271 FAX 092-481-1273  
名古屋支店 TEL 052-220-1113 FAX 052-220-1713

札幌営業所 TEL 0123-88-1245 FAX 0123-88-1061 横浜営業所 TEL 045-211-0485 FAX 045-211-0487  
宇都宮営業所 TEL 028-621-5261 FAX 028-621-5263 静岡営業所 TEL 054-254-2514 FAX 054-254-2515  
千葉営業所 TEL 043-266-6181 FAX 043-266-6183 広島営業所 TEL 082-543-2520 FAX 082-543-2505  
上越営業所 TEL 025-524-1777 FAX 025-524-3852 高松営業所 TEL 087-833-0271 FAX 087-833-0218  
(松本金沢事務所) 鹿児島営業所 TEL 099-263-8740 FAX 099-263-8741

[www.pozzolite.basf.co.jp](http://www.pozzolite.basf.co.jp)

●ロゴ・マークならびに弊社の混和剤・床材・グラウト材・補修材をはじめとする各種建設材料の商品名に®マークを付記したものは、BASF社の登録商標です。

●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。

●万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本商品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいませようお願い致します。

●本記載事項は、新しい知見により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

●BASFポズリス株式会社は開発・技術センターと茅ヶ崎工場及び堺製造センターでISO9001を、また開発・技術センターと茅ヶ崎工場においてISO14001を審査登録しています。

